

農業技術センターニュース

目 次					
	RQフレックスを用いた土壌中リン酸の簡易分析法	… 1		ハウスメロン異常果の品質特性について	… 4
	農業登録データ作成進む	… 2		ハウスミカン新梢抑制剤「フィガロン乳剤」の散布時期とその効果	… 5
	メロン生産者に朗報！ 防根透水シート埋設機の開発	… 3		茶害虫チャノミドリヒメコバエを捕食するクモの種類	… 6

RQフレックスを用いた土壌中リン酸の簡易分析法

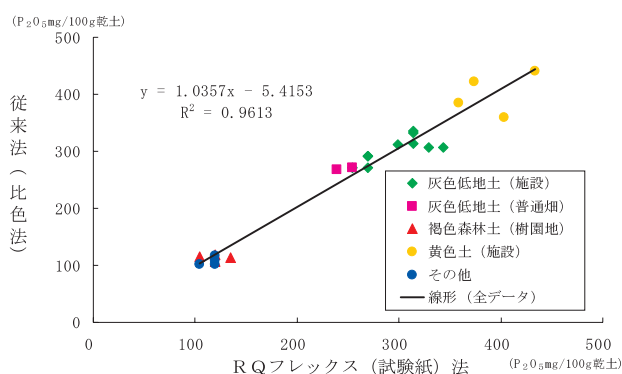


図 有効態リン酸分析における従来法（比色法）とRQフレックス（試験紙）法の比較

土壌中の有効態リン酸を、簡単にしかも高い精度で分析できるRQフレックス（小型反射式光度計）の利用方法を紹介します。

測定には従来法と同じ希硫酸緩衝液で抽出したろ液を用います。RQフレックス（写真）には、試験紙を用いる方法と、試料を発色させてプラスチックセルに入れ測定する方法があります。

試験紙法は測定下限が74.5mg/100g乾土

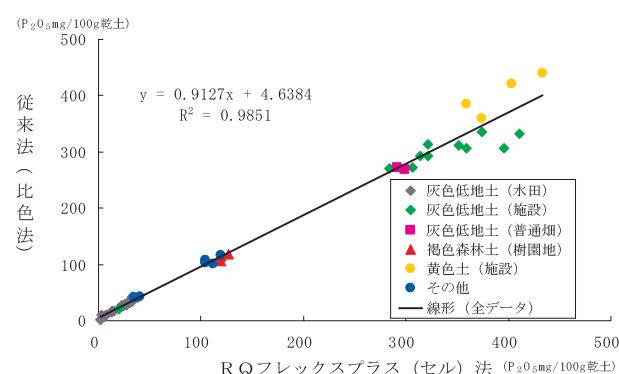


図 有効態リン酸分析における従来法（比色法）とRQフレックスプラス（セル）法の比較

(P₂O₅)のため、施設などのリン酸含量の多い地点の分析に向いており、セル法はリン酸含量の少ない地点の分析に向いています。リン酸含量が高く測定範囲を超える場合は、両法とも蒸留水で希釈して測定します。

また、分析の精度は土壌の種類にはほとんど影響を受けません（図1、2）。

（土壌肥料担当 行弘 恵 088-863-4915）